

消防本部

沿革	X II - 1
消防概要	X II - 4
救急出場	X II - 7
消防水利	X II - 8
火災発生状況	X II - 9
防火対象物状況	X II - 10
危険物施設設置状況	X II - 11
石油コンビナート防災	X II - 12

沿革

年 月	で き ご と
昭和15年 1月	警防団常備部として開所
22年 4月	港出張所を開所
10月	警防団を消防団に改称
24年 3月	消防団常備消防部を廃止し、四日市市消防本部を設置
26年 6月	富田出張所を開所
29年 5月	消防署を設置し、港・富田出張所を編入
12月	消防本部の機構改革により、総務・整備・消防・予防の4係を置く
34年 2月	消防本部、消防署合同庁舎を新築し移転
36年 5月	機構改革により消防本部に次長を設け、総務・消防の2課、総務・整備・予防・消防の4係を置き、消防署に総務・消防・予防の3係を置く 富田出張所を北出張所と改称
37年 1月	南出張所を開所
39年10月	機構改革により四日市消防署を中消防署と改称、北出張所・南出張所をそれぞれ消防署に昇格
40年10月	桜・保々分遣所を開所
44年 3月	一斉指令装置を設置
45年 4月	予防行政の強化充実を図るための機構改革により、予防課を置き、総務・消防・予防の3課、庶務・装備・消防・通信救急・予防・危険物の6係とする 中消防署港出張所を同署港分署に昇格
5月	中消防署港分署に双胴型消防艇「あさかぜ」を配備
46年 4月	北消防署庁舎改築
49年 6月	南消防署庁舎改築
50年10月	小山田分遣所を開所
51年 4月	防災指導体制を強化するため、予防課に指導査察係を置く
52年 3月	石油コンビナート等災害防止法に基づき3点セット(高所放水車、大型化学車、泡原液搬送車)を中消防署に配備
7月	機構改革により、本部に警防技監、主幹、主任を、消防署に副署長、主任の設置制度を設け責任体制の確立を図るとともに、本部消防課通信救急係を通信指令室に改め、中消防署に消防第3係を設ける
53年 3月	消防通信の集中化と効率化を期すため、通信指令室に防災指令装置を置く
54年 3月	大規模地震等による災害に対応するため、自主防災組織、耐震性貯水槽の計画的設置を開始する
55年 4月	機構改革により、本部の主幹を課長補佐に改め主任を廃止し、総務課に企画係を、消防課に防災指導係を設置し、通信指令室を指令第1係及び第2係に改めた 消防署の副署長を署長補佐に改め、主任を廃止する
56年 2月	中消防署に救助工作車を配備

年 月	で き ご と
57年10月	消防本部、中消防署庁舎建設着工
12月	三重県救急医療情報システム地域救急医療情報センターを開設し、運用を開始
59年4月	機構改革により、各消防署の庶務係を予防係に統合し、北・南消防署に消防第3係を置き、総務課庶務係を総務係に、装備係を施設装備係に、消防課消防係を警防係に、防災指導係を防災係に、予防課予防係を建築物係にそれぞれ改めるとともに主幹、主査及び副主査制度を設ける
10月	消防本部、中消防署合同庁舎竣工
60年10月	桜分遣所改築
62年4月	機構改革により、消防本部に副参事を設け、研修所及び総務課企画係を統合し企画研修室とした 消防課指令係を増設し、3係制とする
11月	中消防署港分署に配備の消防艇「あさかぜ」を単胴船に更新
63年3月	桜分遣所を廃止
4月	市内陸部における消防体制強化のため桜町地内に中消防署西分署を建設、開署する 中消防署港分署の水上係を3係に機構改革する
平成元年10月	消防業務をOA化し、予防システムの運用を開始する
2年10月	「一人暮らしの老人に対する緊急通報事業」の業務を開始する
12月	中消防署にはしご付消防自動車(45m)を配備
3年1月	消防業務のOAシステム(指令管制)の運用を開始する
2月	三重郡楠町、朝日町及び川越町と四日市市との間において消防事務委託に関する付属協定書・同覚書の調印を行う
4年4月	消防本部次長2人制とし、消防課に救急救助係を設ける
5年2月	三重郡楠町の消防事務委託に際し、南消防署を一部増築(事務所部分)
3月	三重郡3町の消防事務受託業務開始
4月	三重郡朝日町、川越町の消防事務受託に際し、北消防署朝日川越分署を開設 機構改革により、消防本部に通信指令室を設け消防課の所管とし消防署に副参事を設ける 中消防署に特別救急隊を設置し、高規格救急車の運用を開始する 消防音楽隊を再結成し、練習開始
6年4月	機構改革により、中消防署港分署の水上第3係を廃止した
8年7月	消防緊急通信指令システム運用開始
9年4月	機構改革により、消防本部に防災教育センターを設ける 中消防署特別救急救助係を3係制とする 北消防署、防災教育センター庁舎竣工
10年2月	消防業務のOAシステム機器(予防)を更新
10年4月	行政改革に基づく機構改革により、消防本部総務課に企画研修室を統合し、施設装備係を装備係に改称し、通信指令室を情報指令室に改称し総務課の所管とする 消防課を消防救急課に改称し、防災係及び救急救助係を統合し地域安全係とし、防災教育センターを消防救急課の所管とする 予防課を予防保安課に改称し、指導査察係、建築物係及び危険物係を安全指導係、予防係及び保安係とする

年 月	で き ご と
10年 4月	消防署に副署長(従前は署長補佐)を置くことができるとし、予防係を指導係に改称する 中消防署の消防係及び特別救急救助係を消防救助係及び救急係に改称し、救急高度化を推進するため 北及び南消防署に救急係を設ける 中消防署港分署の水上係を廃止
10月	北勢地域携帯電話 119 番通報運用開始
12年10月	北消防署保々分遣所を廃止し、四日市市北消防署北西救急分駐所を開所
14年 3月	南消防署小山田分遣所を廃止
4月	機構改革により北消防署消防係を消防救助隊に改め、救助工作車の運用を開始
10月	四日市市南消防署西南救急分駐所を開所
15年 3月	消防音楽隊活動休止
4月	四日市市消防本部水難救助隊発足
16年 4月	四日市市消防団防災支援者制度が開始される
8月	大規模災害時における安全な市民生活の確保を目的とした四日市市消防支援隊が発足される
17年 1月	消防情報支援システムの運用が開始される
4月	機構改革により消防本部総務課情報指令室が消防本部情報指令課に改組される 消防音楽隊が活動を再開
9月	四日市市消防団サルビア分団発足
18年 4月	消防艇の民間業者への業務委託開始
7月	四日市市及び桑名市消防通信指令事務協議会発足
19年 4月	四日市市、桑名市消防本部が、桑名市消防本部内で消防指令センターの共同運用開始 機構改革により消防本部消防救急課指揮支援隊の24時間体制を開始 南消防署消防係を消防救助係に改め、消防ポンプ付救助工作車の運用を開始
20年 4月	中消防署特別救助隊に替え、中消防署高度救助隊を導入
11月	中消防署中央分署・消防活動支援センターを開署(11月10日業務開始)
22年 4月	機構改革により、北消防署北西救急分駐所、南消防署西南救急分駐所に消防ポンプ自動車を配置し、 北消防署北西出張所、南消防署西南出張所とする 国際消防救助隊として6名の隊員を登録 消防団の一団化
23年 4月	機構改革により、消防本部次長を改め、副消防長とする
24年 4月	機構改革により、消防本部消防救急課に救急救命室を設置
25年 1月	市立四日市病院において救急ワークステーション試行運用開始
26年 4月	市立四日市病院において救急ワークステーション本格運用開始
27年 3月	緊急消防援助隊ドラゴンハイパー・コマンドユニット(エネルギー・産業基盤災害即応部隊)の中核 となる消防水利システム車両(2台1組)を中消防署中央分署に配備
28年 4月	四日市市、桑名市、菰野町消防本部が中消防署中央分署内で消防指令センターの共同運用開始 消防本部消防救急課の指揮支援隊を改め指揮隊とする
29年 4月	南消防署南部分署開署
30年 4月	北消防署北部分署開署
30年11月	北消防署と南消防署に特別救助隊を設置
31年 4月	ドローン隊の運用を開始
令和2年 3月	重機と重機搬送車を中消防署中央分署に配備

年 月	で き ご と
12月	南消防署南部分署及び北消防署北部分署において消防隊と救急隊の2隊運用を開始
令和3年3月	13mブーム付多目的消防自動車を中消防署中央分署に配備
5年4月	南消防署を改築（鉄骨鉄筋コンクリート造3階建、建築延面積1,811.05㎡）
6年4月	消防本部ホームページリニューアル
6年5月	防災教育センターリニューアル
6年7月	北消防署北西出張所開所

消防概要

本市消防体制は、消防本部に総務課・消防救急課・予防保安課・情報指令課・防災教育センターを設置し、市街地に中消防署・北消防署・南消防署の3消防署を置くとともに、海上・沿岸地域に港分署、市中央部に中央分署（消防活動支援センター）、市北部に北部分署、市南部に南部分署、市西部に西分署、北西出張所及び西南出張所を、受託地域の三重郡朝日町に北消防署朝日川越分署をそれぞれ配置して有事即応体制の確立を図っている。

これに対応する消防力として、消防職員378名（定数381名）、消防車両91台のほか、1消防団及び本市各地域には、25分団、団員552名、27車両を配備している。

今日の社会機構や多様化する生活様式のなかで、逐年増加している救急業務をはじめ、地域住民の消防に対する行政需要はますます増大している。このため、あらゆる災害を想定した救助救出訓練、防災訓練を積極的に行い、使命の達成に全力をあげている。

令和6年8月8日に発生した宮崎県日向灘を震源とする地震を受けて初めて南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された。また、同年1月1日には能登半島地震が発生し、大規模災害に対応するためにさらに消防力を充実強化するとともに地域住民による自主防災組織の育成など、市民の総力を結集した総合防災体制の確立にまい進している。

● 消防予算

（単位：千円）

年 度	常備消防費	非常備 消防費	消防施設費	水防費	合 計	一般会計に 占める割合 (%)
27	3,131,147	144,576	1,748,793	1,532	5,026,048	4.3
28	3,549,485	136,802	645,363	1,177	4,332,827	4.0
29	3,410,533	140,028	925,376	1,193	4,477,130	4.1
30	3,577,759	142,670	307,443	1,183	4,029,055	3.4
31	3,421,323	140,854	270,440	1,183	3,833,800	3.2
R2	3,870,445	157,909	286,378	1,666	4,316,398	3.6
R3	3,851,624	145,758	728,752	1,647	4,727,781	3.9
R4	3,748,262	167,124	1,262,294	1,656	5,179,336	4.0
R5	3,835,512	167,203	760,618	1,595	4,764,928	3.7
R6	3,913,407	189,672	696,655	2,317	4,802,051	3.5

※各年度とも当初予算額

● 消防職員数の推移

(各年4月1日現在)

年度	平成 20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	令和 2	3	4	5	6
職員数	318	320	320	320	320	320	320	326	343	353	358	355	367	374	376	377	378

※再任用職員数含む

● 所属別消防職員数

(令和6年4月1日現在)

合 計	消 防 本 部								消 防 署								
	消 防 長	副 消 防 長	政 策 推 進 監 兼 同 和 行 政 推 進 監	総 務 課	消 防 救 急 課	情 報 指 令 課	予 防 保 安 課	防 災 教 育 セ ン タ ー	中 消 防 署	中 央 分 署	西 分 署	港 分 署	北 消 防 署	朝 日 川 越 分 署	北 部 分 署	南 消 防 署	南 部 分 署
378人	1	1	1	25	29	15	17	【1】	62	29	16	【2】	45	19	36	45	37
<12>				<2>	<2>	<2>			<1>	<1>					<2>	<1>	<1>

◇ はうち数で再任用職員数を表し職員数に含む

防災教育センターの【1名】は北消防署副署長兼務

港分署の【2名】は中消防署副署長及び中消防署員兼務

● 消防車両等配置状況

(令和6年4月1日現在)

区分	所属別	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	北部分署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	南部分署	西南出張所	防災教育センター	合計	消防団
消防車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	1	-	1	1	1	1	-	8	25
	水槽付ポンプ自動車	-	1	-	2	-	1	1	2	-	1	1	-	-	9	
	化学消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	13mブーム付多目的消防ポンプ自動車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	
	大容量送水ポンプ車	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	大型放水砲車	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
	高規格救急自動車	-	3	1	1	-	2	1	1	1	2	1	1	-	14	
その他の車両	指揮車	2	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	5	
	支援車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液運搬車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	5	2
	重機搬送車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	立入検査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	広報車	8	1	1	1	-	1	1	1	-	1	1	-	-	16	
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2	
	人員輸送車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	軽救命消防車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	5	
	乗用車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
地震体験車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1		
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
合計	16	13	8	5	1	13	7	5	2	14	4	2	1	91	27	

● 消防団員及び消防車の配置状況 (四日市市消防団)

(令和6年4月1日現在)

分団名	員数	車両数	分団名	員数	車両数
本部(機能別消防団員含む)	77人	3台	神前	22人	1台
サルビア	13		川島	19	1
羽津	21	1	県	22	1
富田	22	1	桜	19	1
富洲原	12	1	塩浜	17	1
大矢知	22	1	日永	21	1
八郷	19	1	河原田	17	1
下野	22	1	内部	20	1
保々	22	1	四郷	19	1
橋北	11	1	小山田	20	1
海蔵	14	1	水沢	22	1
海上	17	1	楠	22	1
常磐	21	1			
三重	19	1	合計	552	27

救急出場

● 年次別出場状況

(過去10年間)

区分	26	27	28	29	30	31/1	2	3	4	5	
救急事故別 出場状況	火災	64	62	75	54	87	79	52	60	52	44
	自然災害	—	—	—	—	8	0	0	0	0	0
	水難	7	13	8	6	8	4	7	12	7	5
	交通	1,604	1,436	1,449	1,373	1,408	1,259	1,103	1,058	1,121	1,109
	労働災害	140	229	187	175	162	172	131	155	184	165
	運動競技	105	124	96	114	101	124	85	99	107	137
	一般負傷	1,786	1,776	1,892	2,056	2,144	2,125	1,990	2,025	2,296	2,695
	加害	98	61	69	59	59	68	65	55	64	51
	自損	128	122	97	125	94	124	128	113	142	122
	急病	9,338	9,477	9,422	9,377	10,655	10,389	8,975	9,701	11,755	12,040
	その他	1,037	1,113	1,012	1,105	1,184	1,241	1,067	1,131	1,307	1,234
合計	14,307	14,413	14,307	14,444	15,910	15,585	13,603	14,409	17,035	17,602	
搬送件数	12,741	12,364	12,312	12,238	12,284	13,852	13,732	12,097	12,773	15,511	
搬送人員	12,921	12,543	12,455	12,391	12,409	13,981	13,830	12,189	12,862	15,610	
傷病程度別	死亡	279	272	281	280	255	299	278	302	248	340
	重症	1,035	1,227	1,201	1,123	1,494	1,893	1,823	1,619	1,697	1,914
	中等症	3,510	3,303	3,488	3,384	3,261	3,234	3,349	3,224	3,377	3,467
	軽症	8,087	7,725	7,482	7,604	7,398	8,555	8,379	7,043	7,534	9,709
	その他	10	16	3	0	1	0	1	1	6	0

● 救急出場場所の状況

(令和5年)

区分	出場件数	搬送件数	搬送人員
中消防署管内	7,453	6,443	6,484
北消防署管内	4,011	3,576	3,599
南消防署管内	4,883	4,398	4,421
高速自動車道	51	39	42
市外(受託三重郡2町)	1,201	1,053	1,062
市外(その他)	3	2	2
合計	17,602	15,511	15,610

消 防 水 利 状 況

(令和4年4月1日)

	合計	消 火 栓						防 火 水 槽						そ の 他							
		小計	工業用水			上水道			小計	100	80	40	100	40	40	小計	井戸	プール	池沼	河川	灌漑
			双口	単口	覆口	単口	単口	単口		m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³						
合計	7513	6670	84	181	45	8440	617	41	52	208	7	215	94	228	49	63	14	78	18		
中消防署管内	共同	158	189	0	1	3	135	8	4	0	0	0	4	1	5	3	2	0	0	0	
	同和	14	12	0	0	1	11	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	中央	60	52	0	0	1	51	4	2	0	0	0	0	2	4	4	0	0	0	0	
	港	125	113	3	3	2	105	5	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	
	浜出	257	236	4	1	4	225	16	5	1	4	1	3	2	5	3	2	0	1	0	
	橋北	148	128	1	5	2	127	12	3	0	2	0	4	3	3	3	2	0	3	0	
	海蔵	210	202	1	0	0	201	11	1	2	3	0	4	1	5	0	2	0	3	0	
	常盤	308	277	12	4	2	259	19	0	4	4	0	10	1	12	2	3	0	7	0	
	中央	川島	208	185	0	0	1	184	18	0	2	1	0	18	2	3	0	1	1	1	0
		神前	219	193	0	0	0	193	17	0	2	4	1	8	4	3	0	3	0	0	0
		県	269	216	0	0	1	215	38	0	2	18	0	16	4	0	0	2	0	6	0
		三重	457	378	5	5	5	381	63	2	5	42	0	12	8	12	0	8	0	8	0
	西	萩	282	265	0	0	0	265	18	0	1	7	0	11	0	0	0	3	0	5	0
	小計	2715	2343	26	15	22	2326	240	13	19	85	2	85	30	62	15	26	1	32	0	
北消防署管内	羽津	308	285	4	15	5	253	13	2	3	2	0	4	2	3	2	3	1	1	1	
	富田	253	225	4	3	0	213	10	2	1	4	1	1	1	17	3	3	0	3	2	
	高瀬原	280	283	6	1	0	282	15	3	0	3	0	3	1	15	6	2	0	0	7	
	大矢知	305	280	0	1	3	273	18	0	4	0	0	3	3	6	3	2	1	0	0	
	北部	八郷	280	266	3	3	0	244	40	0	1	14	0	18	7	3	0	3	0	0	0
		下野	210	190	0	0	0	190	17	0	1	11	0	9	2	3	0	2	0	1	0
		保々	257	220	0	0	0	227	33	0	0	5	1	17	10	4	0	2	1	1	0
	朝川	朝日	284	287	0	11	2	222	44	0	0	8	0	18	19	3	0	3	0	0	0
		川越	657	622	2	11	0	608	28	0	0	13	0	4	0	12	2	4	0	6	0
	小計	2709	2424	19	45	10	2366	214	7	10	78	2	72	45	71	22	24	3	12	10	
	南消防署管内	塩浜	240	218	8	11	1	191	14	8	1	3	1	2	1	18	8	2	0	3	0
		日永	305	274	15	5	6	243	16	3	1	4	1	5	2	16	4	3	1	8	0
内部		341	310	0	2	1	307	22	0	3	8	0	10	3	3	0	3	1	5	0	
河原田		140	123	5	5	0	113	15	1	0	6	0	6	0	5	0	1	0	4	0	
権		308	285	11	4	0	257	33	3	18	12	0	8	2	2	0	2	0	0	0	
南部		四郷	381	334	0	4	5	325	18	2	2	2	0	7	3	11	0	5	0	6	0
		小川田	210	182	0	0	0	182	25	0	0	8	0	14	5	11	0	2	5	4	0
		水沢	160	146	0	0	0	143	16	0	0	6	1	6	3	6	0	1	3	2	0
小計		2009	1853	39	35	19	1788	163	15	23	45	2	58	19	79	12	19	10	32	0	

● 年次別火災発生状況

区分	火災件数						損害額 (千円)	焼損面積		死傷者(人)	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物(m ²)	林野(a)	死者	負傷者
22	122	75	5	13	—	29	164,908	2,265	10	8	23
23	124	61	3	16	—	44	220,489	1,926	70	5	10
24	136	62	5	18	2	49	135,202	1,129	14	2	24
25	94	58	6	6	—	24	71,732	1,235	58	4	9
26	111	63	4	12	1	31	141,894	2,134	23	7	28
27	85	50	—	15	—	20	180,097	2,686	—	3	14
28	105	70	—	9	—	26	197,464	2,129	—	6	13
29	93	34	7	11	—	41	87,689	1,657	60	2	9
30	110	63	2	18	—	27	158,292	1,896	14	5	14
31/1	92	60	3	8	1	20	481,993	5,877	69	2	6
2	90	50	1	11	—	28	290,017	1,026	2	1	11
3	74	37	1	12	—	24	114,536	1,484	3	2	13
4	79	42	—	10	—	27	84,387	992	—	2	10
5	84	36	3	8	1	36	164,650	1,845	137	2	8

● 原因別・管内別火災件数

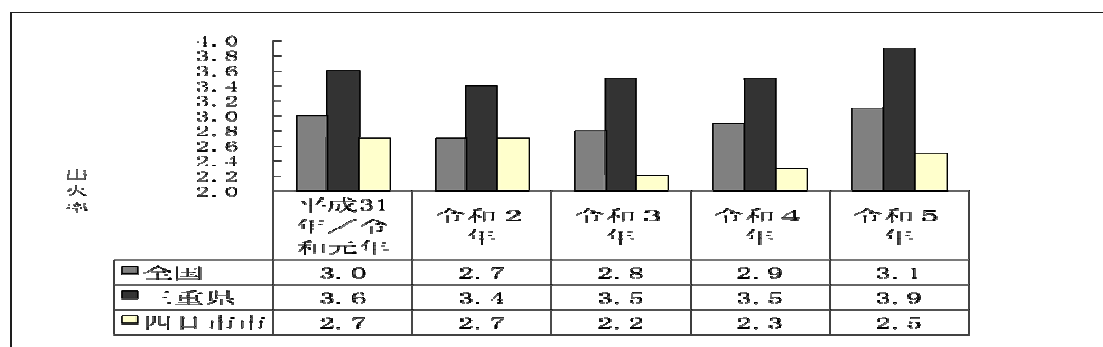
(令和5年)

種別	総件数 84件											
原因別	たばこ	こんろ	放火 放火の疑い	たき火	電気機器	電灯・電話 等の配線	火遊び	マッチ ライター	配線器具	排気管	不明火	その他
	15件	4件	15件	10件	1件	1件	2件	1件	0件	1件	7件	27件

管内別	中署管内 32件	北署管内 26件	南署管内 26件
-----	----------	----------	----------

※高速道路1件 ※出火率のうち令和5年の全国と三重県の数値は速報値

※出火率 $\frac{\text{出火件数}}{\text{人}} \times 10,000$



防火対象物状況（地区別）

令和6年4月1日現在

地区の別	政令別表項目別	合計	1		2		3		4		5		6										7	8	9		10	11	12		13		14	15	16		17	18									
			イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ	イ	ロ	イ				ロ								イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ			イ	ロ							
			劇場・映画館	公会堂・集會場	キャパレール・カフェー等	遊技場	風俗営業を営む店舗等	風俗営業を営む店舗等	カラオケ	待合・料理店	飲食店	百貨店・マーケット	旅館・ホテル	寄居・下宿・共同住宅	病院	有床診療所	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）			（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）			（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）			（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）			（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）	（病院長及び有床診療所へ登記を所設）
			小計	共同	中央	港	浜田	常盤	橋北	海蔵	三重	神前	川島	県	桜	小計	富田	羽津	富洲原	大矢知	八郷	下野			保々	川越町			朝日町	小計	塩浜	日永			河原	四郷			内郷	小山田	水沢	楠					
合計	13,801	20	198	0	19	0	10	3	325	541	52	3,917	5	2	23	189	134	0	2	2	24	71	0	97	16	81	55	417	13	5	2	10	203	2,310	0	151	0	1,875	1,949	706	350	0	0	5	19		
中消防署管内	5,198	2	63	0	7	0	5	1	200	222	29	15,972	2	2	8	92	48	0	0	0	3	31	0	35	10	28	21	146	3	2	1	4	81	537	0	73	0	552	732	438	204	0	0	0	19		
北消防署管内	4,332	15	73	0	4	0	3	0	63	157	4	13,920	0	0	5	53	39	0	0	0	8	14	0	31	1	17	16	144	5	2	0	4	55	875	0	41	0	602	480	141	87	0	0	1	0		
南消防署管内	4,271	3	62	0	8	0	2	2	62	162	19	9,283	3	0	10	44	47	0	2	2	13	26	0	31	5	36	18	127	5	1	1	2	67	898	0	37	0	721	737	127	59	0	0	4	0		

● 地区別危険物施設設置状況

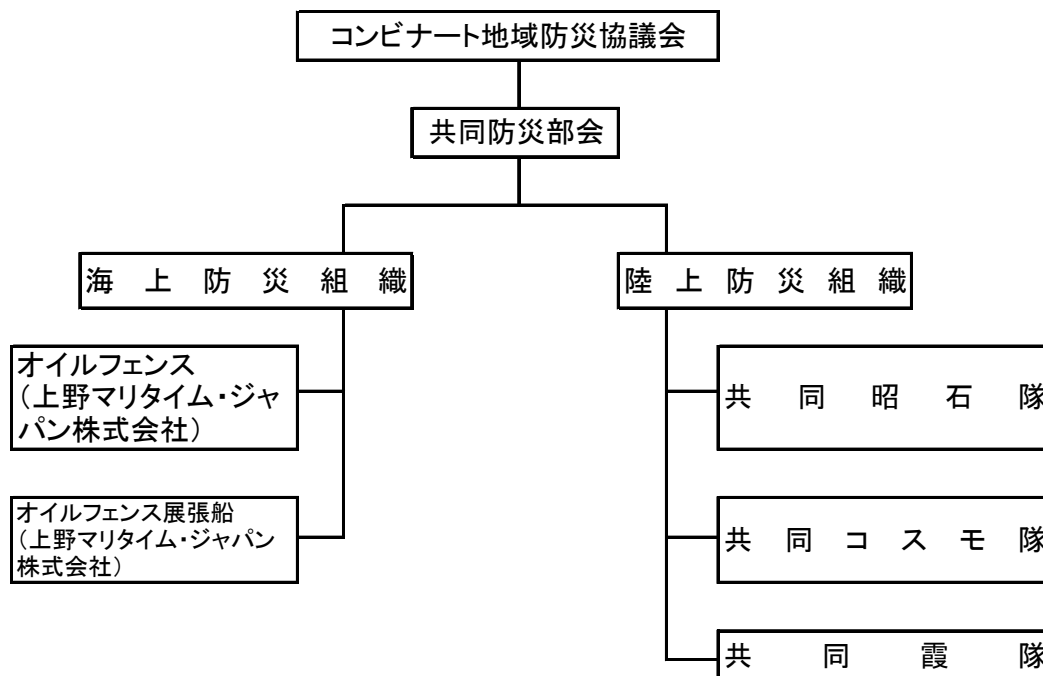
令和6年4月1日現在

地区別	区分	合計	製造所	貯蔵							取扱					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		3,881	129	3,062	367	1,558	60	137	14	809	117	690	190	4	57	439
中消防署管内	小計	772	25	583	52	233	41	55	7	170	25	164	59	1	14	90
	中部	386	9	321	26	105	5	23	1	144	17	56	21	1	2	32
	橋北	171	10	129	6	113	0	1	0	5	4	32	4	0	12	16
	海蔵	20	0	15	1	0	1	2	0	11	0	5	4	0	0	1
	常磐	13	0	8	3	0	0	5	0	0	0	5	2	0	0	3
	川島	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0
	神前	14	0	9	3	0	0	3	0	0	3	5	4	0	0	1
	桜	16	1	11	3	0	0	5	2	1	0	4	3	0	0	1
	県	31	0	18	3	9	1	4	1	0	0	13	6	0	0	7
三重	117	5	71	7	5	34	12	3	9	1	41	12	0	0	29	
北消防署管内	小計	1,167	46	924	110	440	10	41	5	265	53	197	60	0	15	122
	羽津	515	33	394	43	271	0	6	0	59	15	88	7	0	14	67
	富田	41	0	35	5	0	3	5	2	16	4	6	6	0	0	0
	富洲原	57	2	47	10	1	2	1	0	25	8	8	7	0	0	1
	大矢知	26	0	18	13	1	0	3	0	1	0	8	2	0	0	6
	八郷	18	0	12	4	0	2	1	1	4	0	6	5	0	0	1
	下野	9	0	7	3	1	0	1	1	1	0	2	1	0	0	1
	保々	24	1	15	7	4	0	1	0	1	2	8	4	0	0	4
	朝日町	39	0	29	7	12	1	0	1	2	6	10	5	0	0	5
川越町	438	10	367	18	150	2	23	0	156	18	61	23	0	1	37	
南消防署管内	小計	1,942	58	1,555	205	885	9	41	2	374	39	329	71	3	28	227
	塩浜	838	30	674	61	456	4	10	0	130	13	134	14	0	24	96
	日永	350	12	277	43	165	1	12	1	45	10	61	13	2	1	45
	四郷	8	0	4	1	2	0	0	0	1	0	4	2	0	0	2
	内部	77	1	56	6	6	0	4	0	40	0	20	13	0	0	7
	河原田	350	9	280	56	182	2	1	0	30	9	61	9	1	2	49
	小山田	79	2	58	6	18	1	4	1	28	0	19	10	0	0	9
	水沢	15	0	11	1	7	0	3	0	0	0	4	4	0	0	0
楠	225	4	195	31	49	1	7	0	100	7	26	6	0	1	19	

石油コンビナート防災

(共同防災体制)

(令和6年4月1日現在)



(1) 海上防災組織防災隊員(計)

総数	16人
船舶乗組員	8人
その他の防災要員	8人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス	2,160m
オイルフェンス展張船	1隻

(1) 陸上防災組織防災隊員(計)

総数	65人
指揮者・機関員	27人
その他の防災要員	38人

(2) 防災資機材(計)

2点セット	3セット
泡消火薬剤	67.4kℓ

(自衛消防体制)

(1) 防災隊員(計)

総数	1,219人
専任	288人
兼任	931人

(2) 防災資機材(計)

オイルフェンス展張船	2隻
油回収船・油回収装置付	2隻
オイルフェンス	11,020m
泡消火薬剤	308.08kℓ
大型化学消防車	1台
大型高所放水車	0台
泡原液搬送車	1台
大型化学高所放水車	2台
甲種普通化学消防車	8台
その他消防車	1台